

第2章

村上市の景観

第1節 村上市の現況

(1) 地形

本市は、新潟県の最北部に位置し、東部は朝日連峰の稜線を境界として山形県と接しており、西部は約50kmの海岸線を有して日本海と接しています。面積は、1,174 km²で新潟県の総面積（12,583 km²）のおよそ9.3%を占めています。

(2) 気候

気候は日本海型の気象区分に属し、年間平均気温は12.5℃で四季の移り変わりがはっきりしており、「北限の茶処」としても有名です。冬季の雪は「市営ぶどうスキー場」をはじめ、大毎のスノーマンがやってきたなどの地域イベントにも利用されるほか、豊かな水資源となり、生活や産業活動に欠かせない重要な資源となっています。

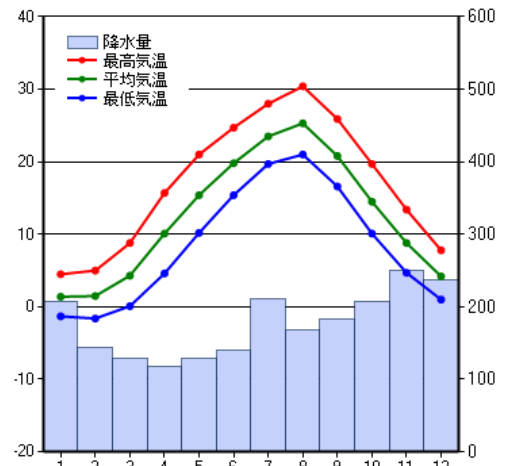


図. 村上の平均降水量及び平均気温
(統計期間：1981～2010/気象庁)

(3) 歴史・文化

村上市街地は、臥牛山（通称：お城山）に村上城が築かれた中世に形成され、現在においても城跡と旧城下の武家町・町人町・寺町のまち並みが、江戸時代からの地名や小路・街道等とともに残っています。

村上城下から庄内鶴岡に至る出羽街道は、江戸時代に出羽三山への参拝者や多くの旅人が通行した街道であり、旧街道沿いには大沢峠の石畳や中継の一里塚、猿沢・小俣の旧宿場のまち並みなど、江戸時代の雰囲気を残す場所が各所に残っています。荒川河口の港町であった塩谷、海老江は、胎内市の桃崎浜とともに江戸時代には荒川三湊と呼ばれ、浜通り沿いの宿場・港町としての歴史的風情が感じられます。

また、村上では古くから三面川の鮭を「魚の中の魚」を意味する『イヨボヤ』と呼んで貴重な財源として珍重し、江戸時代には自然ふ化増殖システムの『種川の制』を考案して鮭の増殖に努めてきたことから、独特の鮭文化を築いてきました。

このほか、村上、岩船、瀬波の三大祭をはじめとした各地域の祭り、獅子舞や能などの伝統芸能、地域の生活の中で育まれてきた多種多様な伝統・文化が今に受け継がれています。

(4) 土地利用

本市の地目別面積は、全体の約67%を森林が占めており、次いで田（約18%）、畑（約5%）の順となっています。このため、本市では大半の土地が森林の緑によって覆われているといえます。しかし近年、山間部では過疎化による山林や田畑の荒廃問題に加え、市街地においても空家・空地の増加が懸念されています。

(5) 法規制

国や県の各種法令・条例等による建築物、工作物、開発行為、水面の埋立に関する現行規制が存在します。また、景観に関する本市独自の条例として、「村上市歴史的景観保全条例」（平成12年制定）により、村上天下町（旧武家町）の景観特性を活かした良好な住環境の形成に取り組んできました。

しかし、景観的な観点からすると比較的緩い規制となっており、不調和な建造物や屋外広告物等も散見されます。

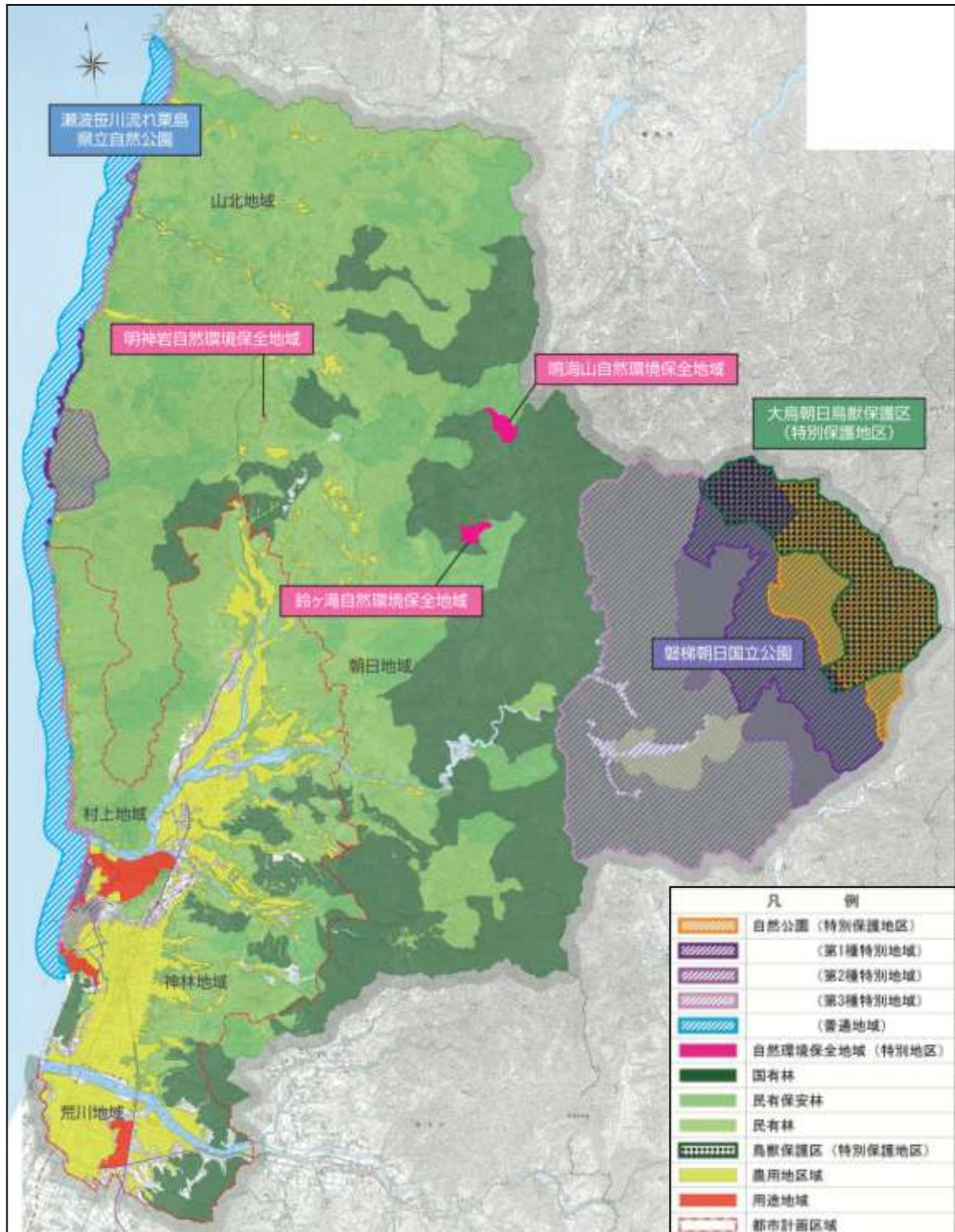


図. 村上市内における法規制状況図

(6) 建築

過去5年における年度別の建築状況を見ると、新築は平成20年度の173軒をピークに減少傾向にあります。増築は100軒前後、改築は60軒前後行われています。建築物の建て替えに伴う伝統的な家屋の減少や景観上不調和な建造物の増加が懸念されます。

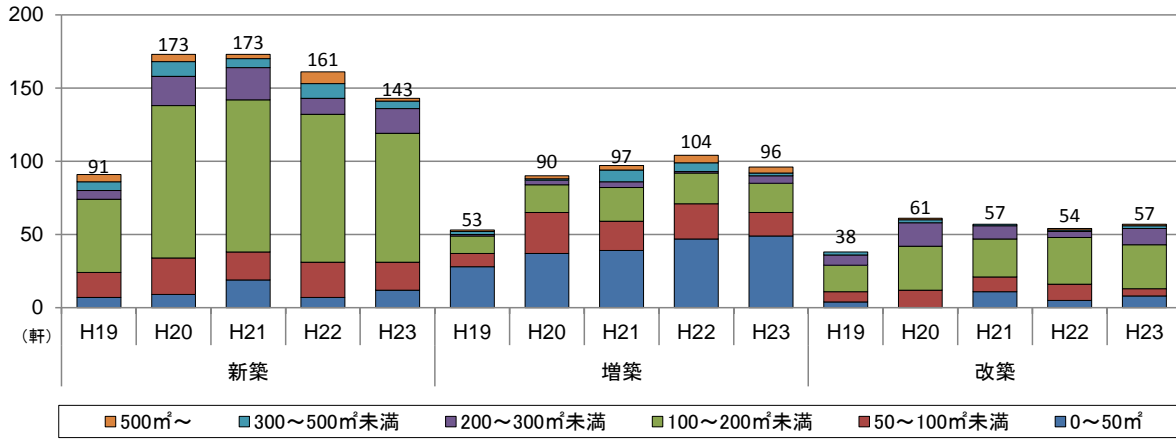


図. 近年の建築状況

資料：村上市 建築確認申請をもとに作成

(7) 市街地開発

近年、村上地域や神林地域の国道7号沿道では、商業店舗や工場等の開発が多く、屋外広告物や大規模建造物等については、周辺景観への配慮が求められます。

表. 近年の開発状況

年度	地域	面積 (㎡)	用途
H19	村上	12,070	店舗
		3,739	建設機械置場
	神林	18,435	事務所及び駐車場
		3,330	工場
H20	神林	34,950	商業施設
H21	村上	7,230	一般住宅
		13,482	一般住宅
H22	村上、神林	14,212	店舗
H23	村上	11,954	店舗
		4,693	住宅用地

資料：村上市 開発登録簿

表. 近年の小規模開発の状況

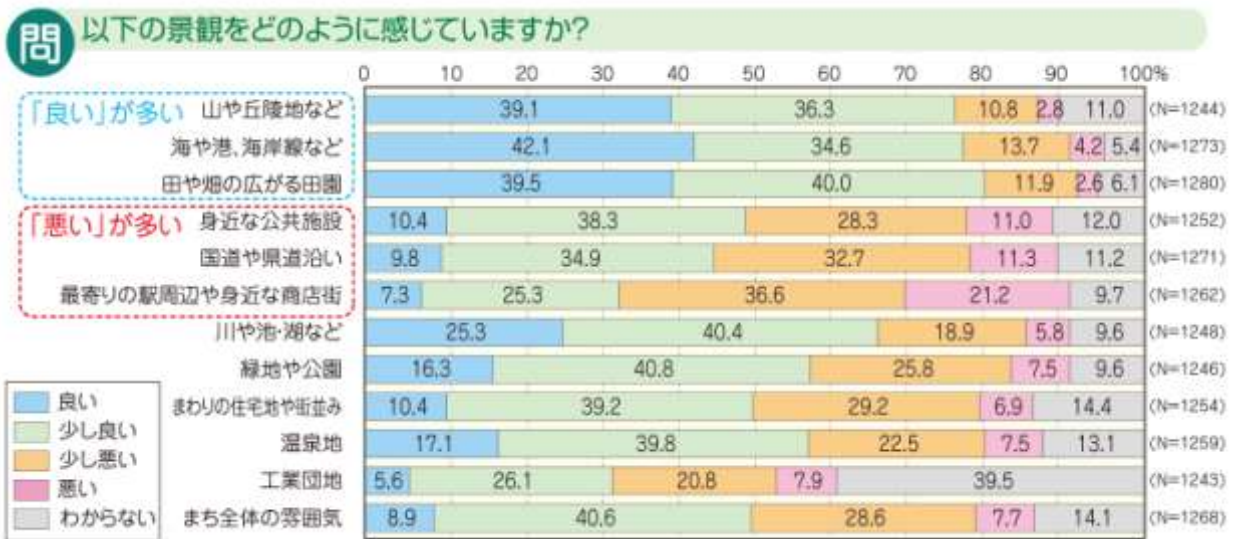
年度	地域	造成面積 (㎡)	目的
H20	村上	1,449	宅地分譲
		1,823	宅地分譲
		752	宅地分譲
H20	荒川	1,125	宅地分譲
H21	村上	1,332	宅地分譲
H22	村上	972	宅地分譲
		2,826	宅地分譲
		2,339	宅地分譲
	荒川	1,017	宅地分譲
H23	村上	1,608	宅地分譲
		2,442	宅地分譲
		2,731	宅地分譲
	荒川	2,054	宅地分譲
H23	荒川	872	宅地分譲

資料：村上市 位置指定道路一覧

(8) 景観に対する市民意識

平成23年7月に市民5,000名を対象に実施したアンケートでは、「自然景観の良さ」と「国道や県道沿い、駅周辺や商店街の景観の悪さ」を感じているようです。

また、景観を活かしたまちづくりを進めていくためには、「歴史的な建物や立派な樹木などを守り、保存していく」、「景観づくりの目標や基本方針をつくる」、「まちの顔となる重点ポイントの景観整備を進める」、「田園や伝統的な農村景観を守り、保存していく」といったことが必要と感じています。



【調査の概要】

- 調査期間
平成23年7月15日～8月29日
(46日間)
- 対象・配布数
18才以上の村上市民 計5,000名
(各地区1,000名を無作為抽出)
- 配布・回収方法
郵送配布・郵送回収
- 回答数
1,431通 (回収率: 28.6%)

図. 市民アンケート調査結果 (抜粋)

※市民アンケート調査の概要は参考資料に掲載

第2節 村上市の景観特性

本市には、私たちが先代から受け継いできた歴史的まち並みや、その暮らしと営みの中で作り上げられてきた文化的景観、そして美しい自然など、全国に誇れる素晴らしい景観がたくさん存在しています。

これらの景観は、「眺める場所（視点場）」と「眺める人」、そして「眺めるもの（対象）」の3つの関係から成り立っています。「眺めるもの（対象）」は、近いものから遠いものまで視野に入る景色全体を1つのまとまりとして捉えることになります。

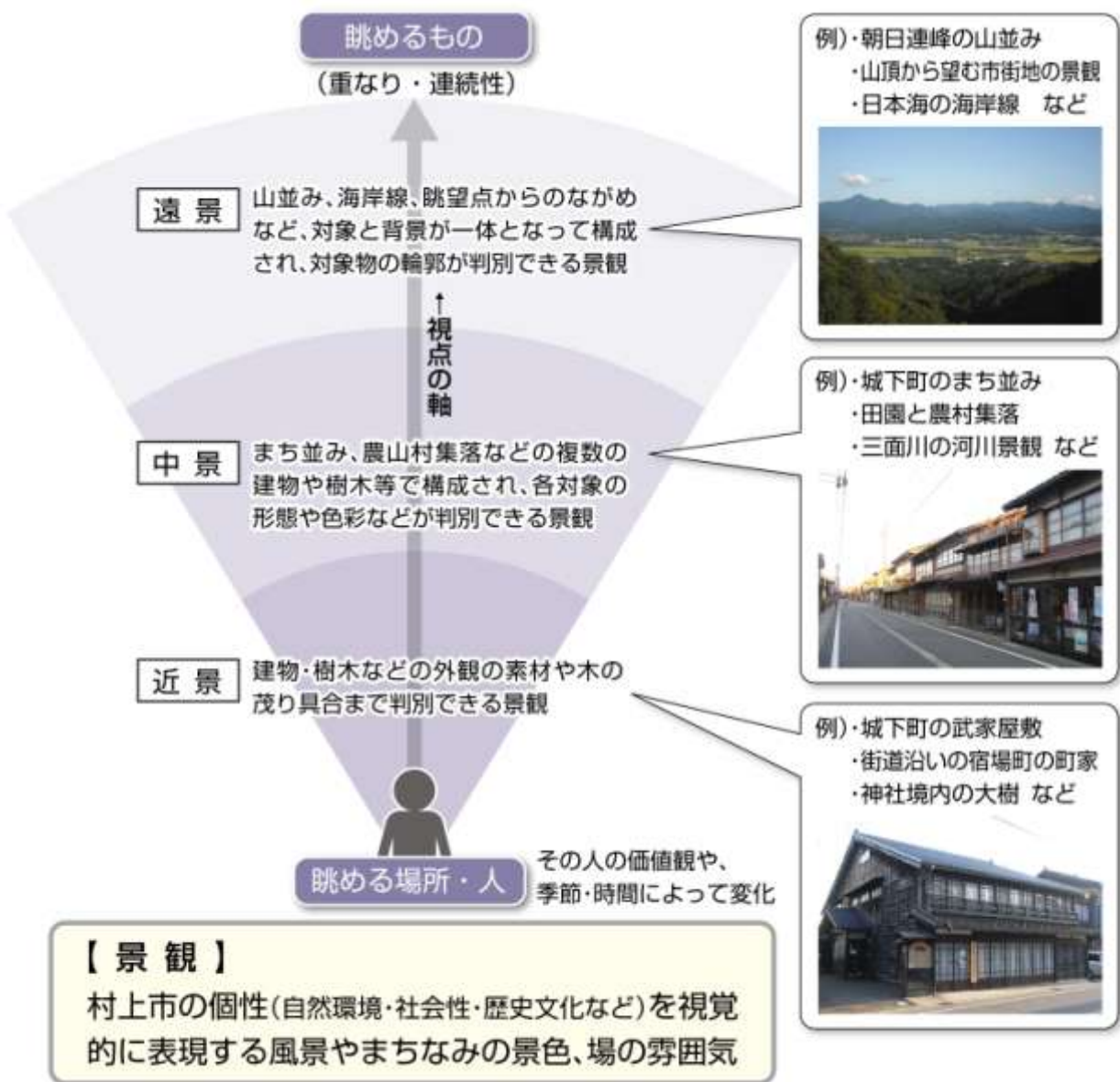


図. 村上市の景観の構成イメージ

(1) 美しい豊かな自然環境

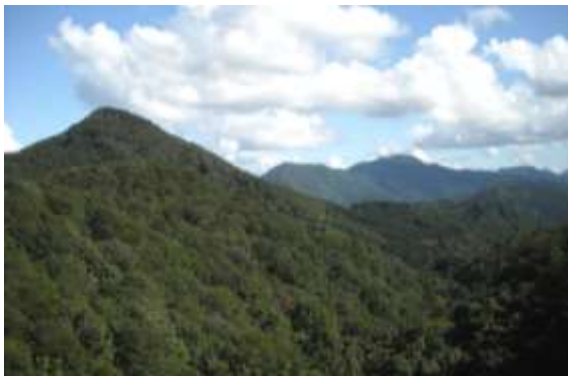
本市の特徴的な景観の一つに、山林部から沿岸部まで広がる広大な自然景観があります。

朝日山系からなる山林地には、ブナの原生林が広範囲にわたって分布し、国立公園にも指定されている磐梯朝日国立公園をはじめとした雄大な山林景観を形成しています。これらの山々を源とする河川には、3年連続で水質日本一にも輝いた清流荒川や、村上の鮭文化を伝える三面川や大川など、市民に親しまれた河川が日本海に注いでいます。50 kmにも及ぶ海岸線には、日本海の荒波の浸食によってできた奇岩の立ち並ぶ笹川流れや白砂青松の景勝地であるお幕場森林公園など、多種多様な自然景観に恵まれています。

これらの自然景観は、市街地や集落の背景となる景観を形成し、私たちの生活に彩りと潤いを与えてくれます。

【代表的な構成要素】

- **山林**：磐梯朝日国立公園、山熊田溪谷、日本国、鳴海金山、高坪山、鷲ヶ巣山、下渡山、臥牛山、要害山
- **河川**：荒川、三面川、高根川、大川、勝木川
- **海岸**：瀬波笹川流れ粟島県立自然公園、お幕場森林公園、「波の花」の風景



山林景観（朝日山地）



河川景観（荒川）



海岸線の景観（笹川流れ）



都市公園（お幕場大池公園）

(2) 市街地の歴史的なまち並み

村上市街地には、村上城の石垣が残るお城山をはじめ、城下町として栄えた旧武家町や旧町人町、寺町の町割りが今も変わらず受け継がれており、国の重要文化財である若林家住宅をはじめ、点在する武家屋敷や生垣が閑静な佇まいを見せています。また、多くの町家や寺院などの歴史的なまち並みが残っているほか、城下町特有の「山当て」と呼ばれる手法により、主要な通りからは背景となるお城山や山居山、下渡山等の山々を望むことができます。

瀬波や岩船といった村上城下の外港として栄えた地域には、旧街道を中心に歴史的な建造物が残り、これらのまち並みを背景に行われる村上三大祭は、勇壮な祭りとともに、風情あるまち並みに城下町の歴史と栄華を感じることができます。

【代表的な構成要素】

- まち並み : 旧武家町、旧町人町・寺町、安善小路と黒塀、岩船、瀬波
- 歴史的建造物 : 若林家住宅等の武家屋敷、町家、旧村上貯蓄銀行
- 寺社 : 浄念寺、安善寺の山門、羽黒神社、石船神社、西奈弥神社



お城山（臥牛山）の石垣



城下町の「山当て」



寺町のまち並み（安善小路と黒塀）



村上大祭

■歴史的まち並みにおける建物の配置と屋根形態について

建物が連なって構成されるまち並み景観では、敷地に対しての建物の「配置」や、屋根の“かたち”や“向き”といった「屋根形態」が、景観の構成要素として大きく影響します。

【建物の周囲に空地を確保している屋敷型の配置】

村上の旧武家町地区では、前庭や周囲に空地を確保した屋敷型の配置で、周囲には生垣を設置しています。農村や山村等の集落部でも、屋敷型の配置となっています。



旧武家町や集落部で見られる屋敷型の配置

【切妻造の平入の町家】

町場や街道沿いの宿場町等は、建物が連担した町家型の建て方となっています。

村上の旧町人町地区や瀬波地区の町家では、伝統的な様式として“切妻造”の屋根形態が多くを占めており、屋根の向きは“平入”で間口が狭く奥行きが深い様式となっています。

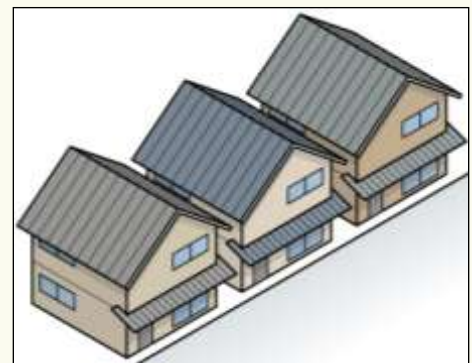


切妻造の平入の町家

これらは京町家などでよく見られる様式ですが、本市では上記地区以外に見られません。

【切妻造の妻入の町家】

塩谷地区や猿沢地区の町家では、伝統的な様式として“切妻造”の屋根形態が多くを占めており、屋根の向きは三角の部分が通りに面する“妻入”となっています。



切妻造の妻入の町家

日本一長い妻入のまち並みとして有名な出雲崎などで見られます。

【切妻造の平入と妻入が混在した町家】

岩船地区の町家では、伝統的な様式として“切妻造”の屋根形態で、表側が“平入”、その奥に“妻入”がつながる平入と妻入が混在した町家が見られます。

これは岩船地域の歴史的建造物の特徴的な要素であり、新潟市の下町などでも同様の様式が見られますが、他地域ではあまり見られません。



表が切妻造の平入、奥が妻入の町家

(3) 生活に根差した集落の景観と生業（なりわい）

山林部から海岸部まで豊かな自然に恵まれた本市には、自然条件を生かした農林漁業が営まれてきました。寝屋や桑川等に代表される漁港と周辺の舟小屋や漁村集落、朝日地域や山北地域の山村集落など、暮らしと生業により創り出された景観は、独自の気候風土や固有の文化等によって培われた地域の景観と言えます。また、平野に広がる田園風景やユリ・クロッカス等の花卉園芸は、身近に四季を感じられ、暮らしに潤いとやすらぎを与えてくれます。

この他に、村上の鮭文化や六斎市、北限の茶処である村上茶の茶畑など、各所に村上の暮らしと生業が密接に結び付いた景観を見ることができます。

【代表的な構成要素】

- 田畑並木：田園、茶畑、クロッカス畑、ハサ木、羽下ヶ渚の桜並木
- 集落：大栗田の集落、海老江の港町、塩谷の港町、出羽街道の猿沢・北中・小俣宿
- 温泉街：瀬波温泉
- 暮らし：六斎市、三面川の鮭漁、大川のコド漁、塩引き鮭のある風景



漁港（寝屋）



山村の景観（中継）



田園風景（牛屋）



塩引き鮭を干している風景（庄内町）

(4) 河川や海岸、街道による美しい景観軸

先に示した自然や歴史そして集落は、河川や海岸あるいは街道などの軸によってつながりを持っています。本市を代表する河川である三面川は、上流域にあたる朝日連峰の自然景観からはじまり、三面溪谷やスーパーラインなどを経て、中流域の里山・田園・集落などの景観につながり、下流域では市街地に近接し、アユ釣りや桜堤、そして河口部の浜辺という形で様々な景観を有しています。これらは1つの河川を通じて人やものが行き来し、生活や文化が相互に関係しあいながら育まれてきたものです。

同様に荒川や大川などの河川のほか、北前船による湊や海岸のつながり、出羽街道・米沢街道による道のつながりが存在し、今もなお様々な人やものが結び交わる物語を形成しています。

こうした多様な景観をつなぐ軸が数多く存在し、市民生活の連携のみならず、今では観光面でも重要な役割を担っていることも本市の特徴と言えます。

【代表的な構成要素】

- 河川の軸：三面川、荒川、大川（河川流域によるつながり）
- 海岸の軸：北前船（湊のつながり）、国道 345 号（日本海夕日ライン）
- 街道の軸：出羽街道・米沢街道（集落や宿場、村上城下のつながり）



河川の軸（三面川）



河川の軸（荒川）



海岸の軸（国道 345 号：日本海夕日ライン）



街道の軸（出羽街道）

(5) これまでの取り組み・活動

本市では、旧武家町における「歴史的景観保全条例」による景観保全をはじめ、「むらかみ町屋再生プロジェクト」や「黒塀プロジェクト」、塩谷地区の「町並み景観再生プロジェクト」など、これまでに市民が主体となった様々なまち並みづくりの取り組みが行われています。

また、これら地域の景観を生かした「町屋の人形さま巡り」、「町屋の屏風まつり」、「宵の竹灯籠まつり」、「日本国の山開き」などの催しが行われ、地域に活気を与えています。

このほか、市民協働のまちづくりでは、荒沢集落の蔵王様景観環境保全事業や瑞雲・釜杭集落のホタルを守る会の活動など、自然環境や景観の保全・形成に住民が主体となって取り組んでいます。

【代表的な構成要素】

- 景観づくり：旧武家町の景観保全、むらかみ町屋再生プロジェクト [旧町人町]、黒塀プロジェクト [安善小路周辺]、町並み景観再生プロジェクト [塩谷]
- 祭り催し：町屋の人形さま巡り、町屋の屏風まつり [以上旧町人町]、宵の竹灯籠まつり [寺町周辺]、日本国の山開き [小俣]



景観づくりの事例① 旧武家町の景観保全

旧武家町では、武家屋敷の保存事業や平成2年に行われた伝統的建造物群保存対策調査等を契機に、歴史文化に対する関心が高まり、平成7年にはお城山周辺地区のまちなみ形成ガイドラインを作成。

住民の代表により組織された「町並保存推進協議会」が市との具体的な協議を進め、7割を超える住民の賛同を得た上で、平成12年にはまちなみ形成ガイドラインをもとにした「村上市歴史的景観保全条例」を制定し、旧武家町の約100haの地区を景観形成地区に指定。

地区内には国の重要文化財に指定されている若林家住宅に代表される武家屋敷が点在し、生垣の設置や住宅外観の修景等に対する助成制度があり、緑豊かな住環境の創造と景観形成が進められている。



まいづる公園



生垣のある風景

景観づくりの事例② 旧町人町・寺町の取り組み

旧町人町・寺町では、平成9年に道路拡幅に伴う大規模な近代化計画が持ち上がる中、村上に残る貴重な町家を保存するために「村上町屋商人（あきんど）会」を結成。手書きの散策地図を配布し、観光客に町屋内部の公開を開始。

平成12年には、町屋の中でひな人形を公開する「町屋の人形さま巡り」や「町屋の屏風まつり」等の各種催しを開始し、今では毎年十数万人もの人が訪れる一大イベントへと成長。

平成14年には、市民の力で昔の黒塀を復活させようと「黒塀プロジェクト」が立ち上がり、安善小路を中心に「黒塀一枚1,000円運動」により資金を集め、黒塀づくりを開始。平成16年には、全国初の市民基金を設立し、「むらかみ町屋再生プロジェクト」として町家の外観再生に着手。

現在までに再生された黒塀や町屋は着実に増え続け、城下町にふさわしい歴史的な景観を形成している。



黒塀で修景された安善小路



外観が再生された町家

景観づくりの事例③ 塩谷集落の取り組み

塩谷集落では、平成 15 年の大学による集落調査が契機となり、まち並み保存による「住んでよかった地域づくり」と、「帰りたいと思える故郷づくり」を目指し、平成 16 年に「塩谷活性化推進協議会」を設立。北前船で栄えた伝統的な町家と醸造蔵のまち並みを活かし、町家見学や環境美化活動等を行っている。

平成 17 年には集落全体を見渡すことができる稲荷山の展望台が建設され、平成 21 年には新潟県の「景観づくりモデル地区支援事業」の対象となり、ワークショップの開催や「焼印付すだれ」の制作等を行った。

平成 24 年には新潟県の「地域活性化モデル事業」により、「塩谷地区町並み景観再生プロジェクト」として、住民による出格子の再生や案内板の制作など、歴史的なまち並み再生の取り組みが行われている。



住民の手作業による出格子製作



完成した出格子窓

景観づくりの事例④ 市民協働のまちづくり

本市では、各地域が抱える課題の解消や地域の活性化を目指して、平成 22 年より市民と行政の協働によるまちづくりに取り組んでいる。

各地域で景観づくりに関連する取り組みも行われており、舘腰地域では、瑞雲、釜杭集落で用水路周辺の清掃活動やホタルのえさになるカワニナの採取・放流等のホタルを守る活動を実施。

塩野町地域では、蔵王山の参道や新保岳登山道の整備、危険個所の把握や植樹などを住民が主体となって実施するなど、自然景観という地域の観光資源を活かした観光資源整備事業を実施。

このほか各地域で多彩な活動が進められており、今後も様々な景観づくりに関連する取り組みが行われることが期待されている。



瑞雲、釜杭集落でのホタルを守る活動（舘越）



荒沢集落民等による手づくりの山道整備（塩野町）

第3節 景観づくりの課題

(1) 景観を阻害する行為の増加

①山林や農地等の荒廃地や野積みされた土石・廃材等

山間地域では、露出した山肌や荒廃した松林等が散見され、田園地域では、耕作放棄地が増加傾向にあるなど、本市の特徴である豊かな自然景観や田園景観の荒廃・減少が懸念されます。

また、幹線道路沿道やまとまった低未利用地等では、建設工事に伴う土石や廃材等が野積みされるなど、屋外の堆積物が眺望景観を阻害しています。



土砂の堆積



廃棄物の堆積

②市街地や集落のまち並み景観を損なう不調和な建造物

本市には、村上城下町をはじめとし、港町や宿場町などの多種多様な歴史的まち並みが存在する一方で、建て替えや住み替えなどの建築更新に伴う歴史的建造物の喪失など、貴重な歴史的まち並みの減少が懸念されます。

また、市街地や集落においても、まち並みや自然環境に不調和な色彩・形態等の建築物が散見され、魅力ある生活環境を阻害する一因にもなります。



色彩的に不調和（合成写真）



形態が不調和（合成写真）

③自然・田園等の眺望景観を損なう建造物や広告物

幹線道路沿道を中心としたロードサイド型商業施設や目立つ色彩・形態の屋外広告物など、背景となる自然・田園景観の眺望を阻害する建造物が散見されます。

また、日本海東北自動車道をはじめとする大規模な施設整備は、周辺の景観に大きな影響を与えるものであり、行為に伴う景観への配慮はもとより、十分な事前説明や合意形成が求められます。



ロードサイドショップ



眺望景観を損なう屋外広告物や電線類

(2) 景観の悪化を招く社会的な要因

①社会環境の変化、多様化

近年の車社会の進展や市民の暮らし方の変化、価値観の多様化等を背景に、周囲の景観と調和しない住宅等が増えてきています。

例えば、歴史的市街地では、これまで存在していなかった駐車スペースの確保が必要となり、連担している市街地においては住宅における防火性能が求められます。これにより、地域の伝統的な様式を継承していくことが困難な地域もあり、今あるまち並み景観を維持・保全していくためにも新たな仕組みや対応が求められています。



違和感を与える車庫（合成写真）



景観を損ねる自動販売機や室外機

②施設の維持管理の不足

急速な少子高齢化や過疎化の進展等を背景に、市街地中心部や集落部では後継者の不在が顕著であり、空地・空家の増加や維持管理者の不在による建物の老朽化や荒廃など、景観の悪化を招いています。

山林、河川、海岸、公園等においても管理が行き届かず、周辺の景観を阻害している施設も見られ、適切な維持管理による良好な景観の維持・形成が求められます。



連坦する中の空地



荒廃した建物

(3) 自然景観の荒廃の危惧

①森林環境の保護・保全

本市には、ブナ林に代表される貴重な自然林のほか、中山間地域の里山など多様な植生を育てており、豊かな自然景観を形成しています。

これらの景観を将来にわたって守っていくために、植生・生態系の保護や水源の涵養などに配慮し、森林環境を保全していくことが求められています。



さけを守るための森林づくり活動の様子（植樹）



守らなければならない貴重な森林

②水辺景観の再生

本市の海岸地形は、笹川流れに代表される北側の岩石海岸と、南側の砂浜海岸により良好な景観を形成していますが、冬季風浪等による海岸浸食のほか、護岸工事や開発等による海浜植物の減少など、砂浜の再生と海岸の保全が求められています。

また、河川においては水害や河川整備等に伴い、過去に比べて河川流域の水生植物等の減少が多く見られます。より魅力的な水辺景観を創出するためにも、これらの河川環境の再生や親水空間の創出が求められています。



浸食が懸念される海岸線



瀬波海岸に自生しているセナミスミレ

(4) 景観を守るための制度の不在

①最低限の景観悪化を防ぐ

本市では、土地利用区分等に応じた様々な法制度により、市全域において土地利用の規制は行われている一方で、景観的な観点から見ると、比較的緩い規制となっています。

本市の貴重な景観を維持・形成していくためには、周囲の景観に大きな影響を与えるような行為等を防ぐ最低限の規制誘導が必要と言えます。

②特に貴重な景観を守る

旧武家町地区では、村上市歴史的景観保全条例により、景観を保全していくための規制誘導手法が設けられています。しかしながら、本条例は景観法制定以前の自主条例であるため、法的拘束力がありません。

また、本市には、旧武家町以外にも歴史的価値の高いまち並みが多数存在するほか、個々の建造物等についても、特に景観的価値が高く、保全が求められているものが多数存在します。

③村上らしい良好な景観を創る

今ある良好な景観を守っていただくだけではなく、今後もより良い景観を創っていくために、市民・事業者・行政の協働により、村上らしい景観を育てていくための仕組みが求められています。